

# 「北海道和牛」取扱要領

北海道和牛ブランド推進協議会

## 1. 目的

生産者をはじめ関係者が一体となって、「北海道和牛」のブランド確立に向け、認知度向上対策などの取組を行うため、北海道和牛ブランド推進協議会（以下「推進協議会」という）による北海道和牛の取扱を定める。

## 2. 「北海道和牛」の定義

- (1) 品種は黒毛和種で、去勢牛又は未經産牛であること
- (2) 北海道で生まれ、北海道で育ったこと  
(北海道が、出生地で、最長かつ最終飼養地であること)
- (3) 厳選された肉質であること  
(公益社団法人日本食肉格付協会により格付された肉質が4等級以上のもの)

## 3. 認定生産者

認定生産者は、推進協議会の正会員で、推進協議会と協力して、北海道和牛ブランドの適正な運用と推進に努めることとし、認定手続き等は以下のとおりとする。

- (1) 認定を受けようとする生産者は、推進協議会の正会員であり、北海道和牛生産認定申請書を推進協議会に提出する。また、その内容に変更があった場合は北海道和牛生産認定申請書（変更）を推進協議会に提出する。
- (2) 推進協議会は、申請書を審査の上、認定証を申請者に交付するとともに登録業者へその内容を通知できる。
- (3) 推進協議会は、認定生産者がブランドの推進や運用に重大な支障を及ぼす行為があった場合は、認定を取り消す。

## 4. 登録業者

登録業者は、推進協議会の賛助会員であり、食肉市場又は相対取引等で認定生産者と牛枝肉を取引する団体とし、推進協議会と協力して、北海道和牛ブランドの適正な運用と推進に努めることとし、登録手続き等は以下のとおりとする。

- (1) 登録を受けようとする業者は、北海道和牛取扱登録申請書を推進協議会に提出する。また、その内容に変更があった場合は北海道和牛取扱登録申請書（変更）を推進協議会に提出する。
- (2) 推進協議会は、申請書を審査の上、登録証を申請者に交付する。
- (3) 推進協議会は、登録業者がブランドの推進や運用に重大な支障を及ぼす行為があった場合は、登録を取り消すことができる。

## 5. 取扱業者

取扱業者は認定生産者と登録業者との取引後から消費者に提供されるまでの間の流通における中卸又は加工品製造・小売・量販・飲食等の業者とし、認定生産者及び登録業者と協力して、北海道和牛ブランドの適正な運用と推進に努めることとし、推進協議会への賛助会員の申請は任意とする。

## 6. 「北海道和牛」（ロゴマーク）の表示

推進協議会及び認定生産者・登録業者・取扱業者が、和牛肉販売・加工品販売・料理の提供や北海道和牛のPRを行う場合は、以下の条件を満たした牛肉に別添マニュアルとおり表示できるものとする。

- (1) 認定生産者が生産（肥育）した牛肉であること
- (2) 2の定義を満たす牛肉であること
- (3) 登録業者が取引した牛肉であること

※枝肉を認定生産者が自身で引取り、自社又は委託により解体・販売を行う場合は（3）の条件は不要

## 7. ロゴマークの取扱

推進協議会はロゴマークを用いた資材又はロゴマークのデータを本協議会の正会員又は賛助会員にのみ提供できるものとする。ただし推進協議会が認めた場合はこの限りではない。

なお、提供の受けたロゴマークを用いた販売促進用の資材又はロゴマークのデータは正会員又は賛助会員が和牛肉販売・加工品販売・料理の提供等の目的のため、取扱業者に提供できるものとする。ただし別添マニュアルに定める不正使用が発覚し、推進協議会で認められない場合は推進協議会又は登録業者がその使用の中止を求めるものとする。

## 8. 個人情報の取扱

推進協議会及び認定生産者・登録業者は、提供を受けた個人情報を、以下の目的でのみ利用

し、法令に基づく場合を除き、提供を受けた個人情報を第三者に提供しない。

- ・ロゴマークの使用条件に関する確認
- ・北海道和牛の P R に係る情報提供
- ・商標権の侵害があった場合の、侵害者の特定や連絡
- ・北海道和牛取扱希望飲食店からの問い合わせに対する情報提供

令和 7 年 8 月 2 6 日 制定